

～やる気・元気・笑顔 歴史と自然の集楽～
小茂田地区地域づくり計画



※集楽とは・・・みんなが集まって楽しいことをするという意味

目 次

1. 小茂田地区の現状	
（1）はじめに	1
（2）小茂田地区の概況	1
（3）小茂田地区の自治組織	2
（4）小茂田地区の活動状況	3
（5）地域マネージャー制度を活用した活動の経過	4～5
2. 小茂田地区の課題	5
3. 今後の具体的な取り組み	
（1）コミュニティ施設の充実	6
（2）ささえあい健康で暮らせる地域づくりの推進	6
（3）人と自然に優しい農業の推進	7
（4）水害・災害に強い集落づくり	7
（5）地域の伝統文化の継承(小茂田浜神社例大祭)	8
4. 今後の計画の達成目標時期	9
5. 地域づくり計画策定までの取り組み経過	10
6. 資料編	11～

1. 小茂田地区の現状

(1) はじめに

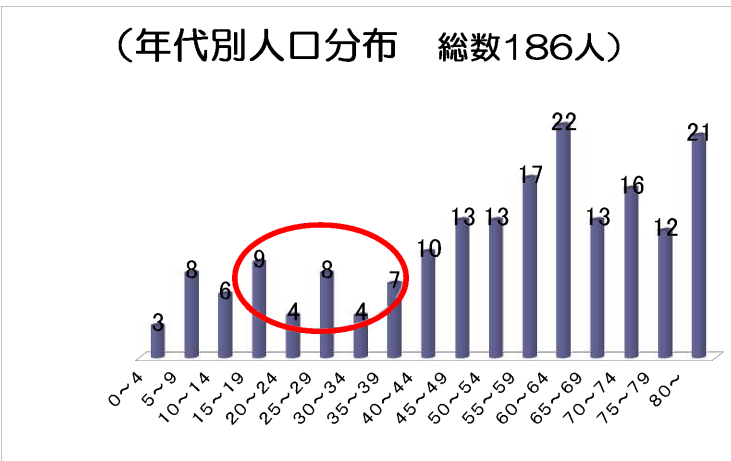
小茂田地区は、対馬の西海岸に面し主要地方道棧原小茂田線沿いに位置する。

昭和48年に東邦亜鉛対州鉱山が閉山になるまでは、鉱山勤めで生計を立てる世帯が多かったが、閉山後は、漁業不振も重なり世帯主が第一次産業に従事する世帯は、全世帯の19.3%で佐須地区外へ勤めに出る者が多くなっている。小茂田地区には、元寇の襲来地として観光名所となっている小茂田浜神社があり、毎年11月には大祭が行われるなど古くからの伝統が受け継がれている。

しかし、最近はお勤めに出る者の増加や高齢化により、このような地域の行事の伝承も難しくなりつつある現状である。



(2) 小茂田地区の概況

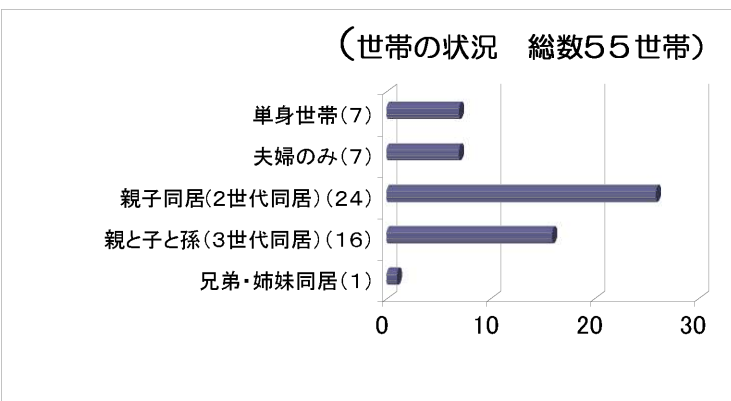


①人口と年齢構成 (平成22年8月1日現在)

小茂田地区の人口は、186人で男性93人、女性93人で、割合は同数となっている。

人口の年齢構成では、60歳代(18.8%)・70歳代(15.1%)・80歳以上(11.3%)の順に多い。特に20歳代~30歳代の若年世代が地元で就職するのが難しいため少ない。

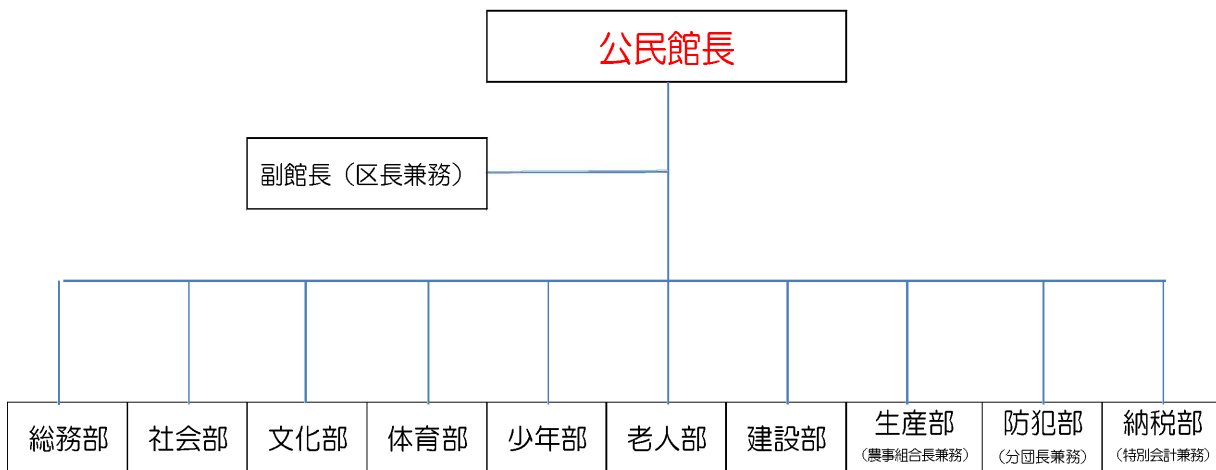
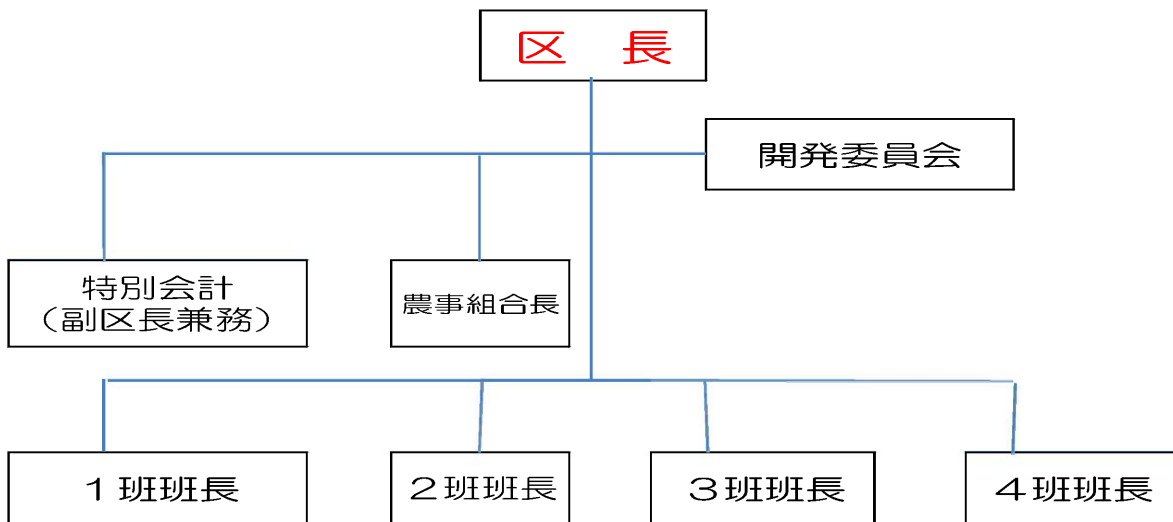
65歳以上の高齢化率は、33.3%となっており、対馬市全体(平成17年国調26.2%)より高い割合となっている。



②世帯の状況 (平成22年8月1日現在)

小茂田地区の世帯数は55世帯で世帯構成は、2世代同居(45.6%)・3世代同居(28.1%)の順に多く、単身世帯7世帯の内、2世帯は教員の単身者であり、実質的な単身世帯は5世帯(8.8%)と少ない。昔ながらの長男が家を継承するという考え方が残っており、他地区に見られる余間制度は見られない。

(3) 小茂田地区の自治組織



○小茂田地区の自治組織は、区長及び公民館長を中心に二つの組織で運営されている。

○小茂田地区には、有識者で構成される開発委員会が設置されており、地区内の問題や取り決め事項を協議する場となっており、区長の諮問機関的な役割を担っている。

○地区内の行事や運営方針については、全世帯が参加し毎月開催される、定例集会や臨時集会において決定される。

(4) 小茂田地区の活動状況

月	行 事 名
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(運営委員会、役員会、事業計画) ・社会部(公民館だより発行) ・防犯部(火災訓練、地区内点検) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・納税部(納税調整) ◎地区総会、定例集会、開発委員会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・少年部(児童公園清掃) ・建設部(児童公園整備) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・納税部(納税調整) ◎定例集会、地区内環境整備事業
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(役員会) ・納税部(納税調整) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ◎定例集会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・体育部(アソピンピック大会参加) ・生産部(豊作祈願祭) ・少年部(児童公園清掃、親子協議会、ラジオ体操) ・納税部(納税調整) ・建設部(児童公園整備) ・防犯部(夏火災予防、地区内点検) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ◎定例集会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(役員会) ・文化部(盆行事) ・社会部(地区内大掃除) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・納税部(納税調整) ・少年部(夕涼み会) ◎定例集会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化部(敬老会、3世代ふれあいピック) ・少年部(児童公園清掃) ・建設部(児童公園整備) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・納税部(納税調整) ◎定例集会、開発委員会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(役員会) ・体育部(ロードレース大会参加、ソフト・ミニバレー大会参加) ・納税部(納税調整) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ◎定例集会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・建設部(児童公園整備) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・防犯部(秋火災予防、地区内点検) ・納税部(納税調整) ◎定例集会、小茂田浜神社大祭
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(役員会) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ・防犯部(年末火災予防、地区内点検) ・社会部(公民館だより発行) ・納税部(納税調整) ・少年部(児童公園清掃) ◎定例集会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・少年部(児童公園清掃) ・納税部(納税調整) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ◎定例集会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・納税部(納税調整) ・老人部(小茂田浜神社清掃) ◎定例集会、林道公役、開発委員会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部(運営委員会、役員会、総会) ・防犯部(春火災予防、地区内点検) ・建設部(児童公園整備) ・納税部(納税調整) ・少年部(児童公園清掃) ◎定例集会(役員改選) ・老人部(小茂田浜神社清掃)

(5) 地域マネージャー制度を活用した活動の経過

(平成20年11月モデル校区として金田小学校区が指定を受ける)

(活動状況は資料編 参照)

①平成20年度の活動

平成20年12月・・・地区住民説明会

平成21年1月・・・「地域マネージャー制度を利用してやってみたいことアンケート」実施

アンケート配布世帯数：48世帯 回収数：44世帯
回収率：91.6%

平成21年2月・・・小茂田地区開発委員会・地域マネージャーでアンケート集計作業

「取り組みたい活動提案書」の作成

平成21年2月・・・地区定例集会にてアンケート結果の報告、小茂田地区で今後取り組みたい活動の意思統一と優先順位の検討を実施。

(アンケート集計結果・協議結果資料参照)

(住民との協議結果 (小茂田地区で取り組みたい活動の優先順位順))

第1位 小茂田自治公民館の新築

第2位 児童公園の整備

第3位 河川の整備

第4位 景観対策

第5位 グループ育成(長男の会・嫁さんの会・無人販売所など)

第6位 小茂田浜神社例大祭の継承

②平成21年度の活動

平成21年4月～・・・小茂田地区で決定した取り組みたい活動について、地域マネージャーが行政の各担当課と協議を実施

①児童公園の整備・・・担当課との協議の結果老朽化した遊具施設の撤去と遊具の新設を要望

・地区住民による砂場の整備完了

②景観対策・・・地区住民による菖蒲園の草取り・菖蒲の新株植え付けの実施

・田畑の休耕期に菜の花・ひまわり・レンゲの播種を実施し、春の景観向上に取り組んでいる。

③平成22年度の活動

- 平成22年4月・・・ 開発委員会及び地域マネージャーによる今年度の取り組み課題の検討
- 平成22年4月・・・ ①小茂田地区内改良工事に関する陳情書の提出
 } ・河川の川床の整備など8項目について陳情
 } ・河川の川床の整備完了
 8月 ・地区内側溝の整備完了(普門寺～山形神社・公民館横)
- 平成22年8月・・・ ②EM菌を活用した環境改善活動の実施
 ・EMだんご作成・投入による、小茂田浜神社横の潮だまりの悪臭解消活動の実施
- 平成22年8～12月・・・ ③特定健診受診率 65% 達成声かけ運動の実施
 22年度小茂田地区、特定健診受診率 **72.4%達成** (対馬1)
- 平成22年9月・・・ ④ふれあいピック2010グランドゴルフ大会の開催
- 平成23年2月～・・・ 米のとぎ汁発酵液・EMIぼかしの普及活動 (EM講習会の実施)
- 平成23年2月・・・ ⑤景観対策 ツツジの植樹 (300本) 「わがまち元気創出」支援事業補助金活用にて実施
- 平成23年2月・・・ 地域マネージャーアンケート第2弾(小茂田地区地域づくり計画策定に向けて)
 対象世帯数：47世帯 回答：35世帯 (74.5%)
 地域づくり計画キャッチフレーズ・計画の重点課題の意見集約
- 平成23年3月・・・ 開発委員会及び地域マネージャーによる検討会の実施
 ・アンケート集計・分析・地域づくり計画 重点課題と方向性の検討

2. 小茂田地区の課題

小茂田地区は、1.の現状からも分かるように高齢化率が33.3%と高くなっている。ただ、昔ながらの長男が家を継承し「家」を守るという意識が今も連綿と続いている。この意識が地区内の助け合い支え合いながら「地区」を守ることに繋がっている。

小茂田地区の活動は、小茂田浜神社例大祭をはじめ多岐多様にわたっており、その中心的な役割を担っているのが、区長を中心としたピラミッド型の自治組織であり、自治公民館活動も非常に盛んに行われている。

また、このような組織としての活動や運営方針については、役員だけの決定ではなく月1回開催される定例会集において提案・協議し地区住民の決定事項として実施されている。以上の地域活動を継続していくためには、どうしても居住地区内にコミュニティ施設が必要である。

現在、このような活動の拠点施設として小茂田自治公民館が使用されているが、老朽化が進み建て替えの時期がきている。

しかし、地区に自力で建て替える財政的な余裕もなく、他地区と同様に小茂田地区においても公の施設として建て替えを推進するのが喫緊の課題である。

3. 今後の具体的な取り組み

(1) コミュニティ施設の充実

《現状》

- ・小茂田公民館は、S36年旧巖原町内の他地区に先駆けて、地区の自治活動を推進する集会施設として自己資金で建築された。
これまで、市有施設ではないという理由で、施設の維持補修に多額の費用負担を地区が強いられている状況であり、他の市有施設に比べ市の補助等が活用出来ない不公平が生じている。
- ・小茂田地区の公民館活動は、各々が自主的に計画し、活動が活発に行われている。このような活動を推進する上で集会施設の必要性は高い。
- ・築50年を経過した公民館は老朽化が著しく、これからの自治活動やコミュニティ活動を活発に推進する上で、支障をきたしている状況にある。

《写真》



《今後の方向性》

- ・コミュニティ活動や健康づくり拠点施設・災害時の避難場所として、充実した公民館の建て替えを市に要望し、建て替え時の木材の提供や作業は地区で可能な限り協力する。

(2) ささえあい健康で暮らせる地域づくりの推進

《現状》

- ・小茂田地区の高齢化率は33.3%で、今後ますます高齢化の進行が考えられる。高齢化による高齢夫婦世帯や、一人暮らし老人世帯も増加が予想される。
- ・平成22年度の特定健診の受診率は72.4%で、対馬市(36.6%)全体でも最も高く、住民の健康に対する関心は高い。
- ・介護や健康についての知識を得る機会が少ない。(アンケート88%が機会がないと回答)
- ・現在、AED(佐須中学校・佐須出張所)が設置されている場所は、休日・夜間の使用が困難なため緊急時の対応ができない。

《今後の方向性》

- ・介護、健康に関する講習会を計画的に実施し、知識の普及に努め、年をとっても健康で安心して暮らせる地域づくりを推進する。
- ・地区独自でAEDを設置し計画的にAED講習会を実施することで、いつでも、だれでもAEDを使える体制づくりに努める。
- ・地区集会での禁煙の徹底を推進する。

(3) 人と自然に優しい農業の推進

《現状》

- ・小茂田地区を含む佐須地区には、対州鉱山の公害田の改良工事と共に、佐須農業機械利用組合が設立され、米・そばなどの作物の農作業を共同で実施するシステムがある。
- ・減肥減農薬による安心安全な、米づくり・野菜づくりへの関心が高い。

《今後の方向性》

- ・減肥減農薬による米づくりをめざした、農業者の自主グループの育成に努める。
- ・EM菌を活用した野菜づくり講習会を開催し、学習を深める。

(4) 水害・災害に強い集落づくり

《現状》

- ・住民アンケートの結果より、大雨による住まいの浸水（57%）や、崖崩れ・落石の危険性への不安（51%）を訴える声が多い。
- ・住居がある地区内に保安林や、急傾斜の指定がされていないところがある。
- ・河川の護岸が崩れていたり護岸が低いため、過去に浸水の経験のある家屋が多い。



崖崩れ・落石危険区域



浸水危険区域

《今後の方向性》

- ・危険地域の点検を進める。
- ・浸水危険地区の河川護岸の嵩上げを市に要望する。
- ・河川の砂利の撤去による、水路の確保を市に要望する。
- ・保安林・急傾斜の指定を要望し、必要な災害防止工事の施行を推進する。
- ・災害に対応できる避難方法（場所・役割分担など）の検討・周知に努める。

（５）地域の伝統文化の継承（小茂田浜神社例大祭）

《現状》

- ・小茂田地区の一大イベントとなっており、小茂田浜神社例大祭（通称：小茂田まつり）で地域がまとまる意味は大きい。
- ・例大祭は小茂田地区の地区役員が中心に運営しているため、期間中（前々夜祭・前夜祭・本祭）の負担は大きい。
- ・例大祭は例年11月12日に開催されており、小茂田・小茂田浜地区の氏子による、お下がり行事も氏子の高齢化や世帯数・後継者の減少により参加者も年々減少しており、現在の形での祭りの継続は年々難しくなっている。平日の大祭日は参拝者も少なく盛り上がり欠ける。
- ・平成22年度は初めての試みとして、佐須地区響心会の元寇太鼓の参加があり盛況だった。

《今後の方向性》

- ・小茂田、小茂田浜地区に限らず、佐須地区全体の祭りとしての実施を他地区に働きかける。
- ・大祭日を休日（例えば第2日曜日）に変更し、氏子の負担を減らし参拝者の増加を図る。
- ・大祭の実行委員会などの組織づくりについて検討を行い、大祭に合わせたイベント開催を検討する。（観光客のお下がり体験や豆もちづくり体験など）
- ・歴史的価値のある「小茂田浜神社大祭」の、継承・保存について市への協力を要請する。

4. 今後の計画の達成目標時期

計画の内容	解決すべき時期		
	早急	2～3年 後先	将来的
①コミュニティ施設の充実			
a. 集会施設の新築	●		
②ささえあい健康で暮らせる地域づくりの推進			
a. 介護・健康に関する講習会の開催		●	
b. AEDの設置・AED講習会の開催	●		
c. 地区集会時の禁煙	●		
③自然と人に優しい農業の推進			
a. 減肥減農薬による米づくりをめざした農業者自主グループの育成		●	
b. EM菌を活用した野菜づくり学習会の開催		●	
④水害・災害に強い集落づくり			
a. 危険区域の点検	●		
b. 河川護岸の嵩上げを市へ要望		●	
c. 河川の砂利の撤去による水路の確保を市へ要望		●	
d. 保安林・急傾斜地の指定による災害防止工事の施行		●	
e. 災害に対応できる避難方法(場所・役割分担など)の検討・周知	●		
⑤地域の伝統文化の継承			
a. 佐須地区全体の祭りとして他地区に協力を要請する	●		
b. 大祭日の変更(休日 例えば 第2日曜日)の検討		●	
c. 大祭の実行委員会など組織づくりの推進		●	
d. 大祭の継承・保存について市への協力を要請する		●	

5. 地域づくり計画策定までの取り組み経過

年月日	取り組み内容
H20.11	地域マネージャー制度モデル校区として取り組み開始
H20.12.25	地区住民説明会の開催（定例集会時） ※地区開発委員会を主体に取り組みを開始することを確認。
H21.1	「地域マネージャー制度でやってみたいことアンケート」を実施。
H21.1.22	地区開発委員会において、アンケートの分析方法等について協議、検討。
H21.2.23	地区開発委員会において、アンケートの分析、結果の取りまとめを実施。
H21.2.25	地区住民へアンケート結果の説明（定例集会時） ※小茂田地区で取り組む課題を決定。
	地区住民アンケート結果をもとに各種課題解決に向けた取り組み、活動を展開。
H22.9.11	地区開発委員会において地区住民アンケート、地域マネージャーで取り組んだ事業を参考に地域づくり計画を策定する方向で決定。
H23.2.10	地区開発委員会において、地域づくり計画書の素案協議。 ※地区の課題・方向性・地域計画キャッチフレーズの募集を全世帯にアンケート方式で実施することを確認。
H23.2.25	地区住民への説明会実施（定例集会時） ・地域マネージャー制度を活用した活動報告 ・地域づくり計画策定に向けたアンケートの実施説明。
H23.3.6	地区開発委員会において、地域づくりアンケートのまとめ及び地域づくり計画素案協議。
H23.4.16	地区開発委員会において、地域づくり計画の最終検討。
H23.4.25	地区集会時に「小茂田地区地域づくり計画」を説明し、地区の計画として了承された。

資料編



平成21年1月「地域マネージャー制度を利用してやってみたいこと」アンケートの実施
配布世帯数：48世帯 回収世帯数：44世帯 回収率91.6%

すぐできそうなこと(アンケートの意見) (地区集会にて同意をもらった)

完了
公民館の開放
・子どもがいつでも遊べる
場所にして！！

**即
OK**

あいさつ通り
・(例)伊原商店～佐須中など
みなで場所を決めましょう。

子ども大人も
『おはよう！』



完了
犬の飼い主マナー改善
・犬の散歩の時は犬の
糞(ふん)は必ず持ち帰る！

完了
ゴミ焼きは止めよう
・家庭ゴミは川などで焼か
ずゴミ回収に。(地球に優しく)

小茂田地区で取り組みたいこと(アンケートの意見)

児童公園の整備

- ・安全な遊具やベンチの設置

公民館

- ・公民館の建て替え

河川の整地

景観対策

- ・佐須川沿いや荒れ地に
 樁の植えよう
- ・休耕田にレンゲや菜の花などを
 咲かせよう

グループづくり

- ・直販所(地元野菜や海産物)
- ・地球に優しい村づくり(太陽光発電)
- ・長男の会・嫁さんの会

小茂田まつり

- ・祭りをもっと盛り上げよう

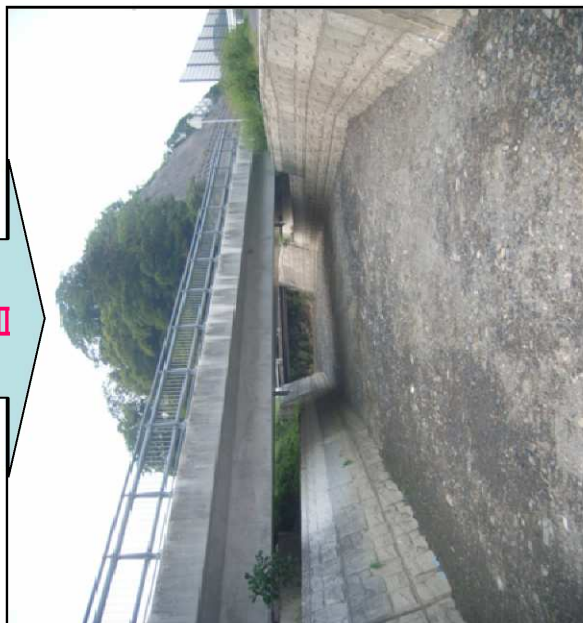
児童公園の整備
安全な遊具やベンチの設置



改善



河川の整地



改善

景観対策



立派な菖蒲園になりました



佐須川沿いにツツジを植えました



水田閑散期の菜の花畑

EM菌を活用した環境改善活動

- EMだんごによる小茂田浜潮だまり悪臭解消活動



- EM講習会の開催



地域マナージャーアンケート 第2弾！！

1. 残っている活動目標を

もっと進めてほしいと思われる方は ○をつけて下さい。

必要ないと思われる方は × をつけて下さい。

- 小茂田公民館の建て替え……()
- 自主グループの育成 ……()

例えばどんなグループができればいいと思いますか？

(賛成される方は○をつけて下さい)

長男の会 ・ 嫁さんの会

EM菌を活用した野菜作り・米作りの会

- その他のグループ()
- 小茂田浜神社お祭りの活性化……()

2. 新たな要望やご意見について 自由にご記入ください。たくさん書いてください。子どもたちの意見も大歓迎！

自由にお書き下さい……………

3. 小茂田地域計画の表紙を飾る キャッチフレーズ大募集！！
みんなが助け合いうい所よ！ ず〜と住みたいいい所よ！というイメージ

「地域マネージャーアンケート」第2弾 まとめ

残っている活動目標をもっとすすめて欲しいですか？

①小茂田公民館の建て替え 必要 28 必要ない 7
 地区では経費がかかる・予算がない
 小茂田には建て替えの金がない


②自主グループの育成 必要 17 必要ない 10 無回答 8

長男の会・・・嫁さんの会・・・6
 EM菌を活用した農業・・・9（畑4・田んぼ3）
 その他・・・

一人暮らしお助け隊・何でも助け隊 ボランティアか少額のお礼を設定
今後増加する一人暮らしの世話人会
環境美化の継続
景観植栽物の会
鉄炭だんごを使用した藻場の再生

③小茂田祭りの活性化 必要 24 必要ない 3 無回答 8

11月の第二日曜日
 豆餅の実演販売・豆餅の餅撒き・第二日曜日

	(キャッチフレーズ募集)
1	和氣愛々！小茂田地区
2	未来のKOMODA
3	やる気★ 元気！！ 笑顔(*^_^*)
4	つなぐ手で笑顔広がる我がふるさと(故郷)
5	未来につなげよう小茂田の和
6	小茂田に来てみんしゃい！（心にしみる助け合い）
7	老いも若きもどうしよるだあ～～～
8	愛・LOVE・小茂田
9	花があふれる里づくり「環境王国小茂田」
10	愛情あふれる地区小茂田 
11	どば～～あ いどらんねえ～～！！
12	思いやりふれあう小茂田地区
13	WE LOVE こもだ
14	みんなでスクラム元気な集落
15	地区住民のふれあいの村
16	サポートこもだ
17	こもだ ささえ合いの村
18	LOVE 小茂田
19	花の村！ 老いも若きも仲良しヨ！
20	よって！たかって！
21	小茂田集楽！（あつまって楽しいことをするという意味）

地域の自己診断票 2011・2月実施（回答総数 35世帯）

項目	調査内容	現 状(回答数)				無回答
		いない	11	いる	22	
防災 防犯	防災、防犯体制は整っているか。	いない	11	いる	22	2
	防火水槽又は消化栓等は整っているか。	いない	8	いる	26	1
	災害時の報知(サイレン等)は整っているか	ある	26	ない	6	3
	古井戸、池、用排水路、道路側溝など安全のための設備(柵、蓋、照明、看板など)が設けられているか。	いない	18	いる	13	4
	夜間、暗い所に防犯灯は設けられているか。	いない	14	いる	17	4
	雨が降ると水に浸かりやすい住まいはないか。	ある	20	ない	12	3
	崖崩れや落石の危険にさらされている住まいはないか。	ある	19	ない	12	4
	災害の危険性がある時、非難する場所はあるか。	ある	19	ない	13	3
道 路	見通しが悪くて危険を感じているところはないか。	ある	17	ない	17	1
	道幅が狭く、危険を感じているところはないか。	ある	10	ない	24	1
	車の通行量が多く、かつ歩道が無い為危険を感じているところはないか。	ある	16	ない	17	2
	カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されているか。	いない	11	いる	22	2
	地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはないか	ある	10	ない	20	5
遊 び 場 の こ ど も の	子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる遊び場はあるか。	ない	5	ある	29	1
	遊び場は、大人の目が届く状態になっているか。	いない	10	いる	23	2
	遊び場は、子どもが安全に往復できる場所はあるか	ない	5	ある	29	1
健 康 生 活	健康を守るための食生活等についての勉強会を計画的に行っているか。	いない	31	いる	2	2
	体力づくりのため、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っているか。	いない	13	いる	21	1
	気楽に楽しめる軽スポーツや催し物ができる広場が近い場所にあるか。	ない	24	ある	10	1
	健康を守るための「家庭の日」や「農休日」が設けられているか。	いない	30	いる	4	1
	休養や睡眠を妨げる騒音や振動、悪臭などはないか。	ない	31	ある	3	1
環 境 ・ 衛 生	道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられないか。	いる	26	いない	7	2
	ペットの糞などがよく捨てられている道ばた、公園、山林、空き地などはないか。	ある	16	ない	18	1
	道路、側溝、集会施設、花壇などは、時期を決めて、一斉に清掃作業が行われているか。	いない	8	いる	26	1
	生活排水が、直接、道路、耕地、用水路、河川などに流されているところはないか。	ある	9	ない	25	1
	ゴミの収集所は整備されているか。きれいに管理されているか。	いる	26	ない	7	2
	河川などにゴミなどがたまりやすい所はないか。	ある	16	ない	15	4
	雑草が生えているところはないか	ある	22	ない	12	1
	汚水、汚物、ばい煙、ガス、粉塵、有害廃棄物など、企業排出物による被害はないか。	ある	2	ない	30	3
	将来に残しておきたい自然(山、河川、景観地、珍しい動植物)があるか	ない	6	ある	25	4
	地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されているか。	いない	3	いる	29	3

項目	調査内容	現 状(回答数)				無回答
生活習慣・相互扶助	共同給水施設(上水道、簡易水道、小規模水道など)が設けられているか	いない	11	いる	20	4
	通勤、通学、買物、などにバス等の便があるか。	ない	15	ある	19	1
	食料品、雑貨など日常生活に間に合う程度の商店があるか(概ね2~3km)	ない	8	ある	26	1
	病院、医院があるか(車で30分以内)	ない	32	ある	2	1
	冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされているか。	いない	21	いる	13	1
	日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされているか。	いない	19	いる	15	1
	集合時間の厳守、会合や共同作業への出席取行、あいさつ取行などの申し合わせがなされているか。	いない	4	いる	29	2
	祝儀、葬儀、病気、事故、災害などの手伝いや見舞い、作業の手伝い、留守中の子供や高齢者の世話などの申し合わせがなされている	いない	19	いる	14	2
娯楽・文化	会議、娯楽、催し物など多目的に利用できる施設があるか。	ない	6	ある	27	2
	簡単な会議や集会など、人々が集まる施設が身近にあるか。	ない	0	ある	32	3
	みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されているか。	いない	6	いる	25	4
	ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われているか。	いない	16	いる	13	6
	新しい文化の創造が行われているか。	いない	18	いる	8	9
	寺社、名所旧跡、名物名産、人財、物財など、自慢できるものがあるか。	ない	2	ある	29	4
	名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われているか。	いない	4	いる	27	4
住民活動・自治活動	婦人会、青年組織、子供会、老人会などがあり、計画的に活動しているか。	いない	2	いる	29	4
	生産や生活に関する集団や組織があり、計画的に活動しているか。	いない	9	いる	19	7
	趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動しているか	いない	14	いる	14	7
	住民への連絡事項は速やかに伝えられているか。	いない	4	いる	31	
	自治会の運営が円滑になされているか。	いない	4	いる	31	
	役員は適材適所主義により民主的に選ばれているか	いない	4	いる	29	2
	地域の暮らしを高める活動が行われているか。	いない	6	いる	25	4
	年間予算が編成され、計画的に運営されているか。	いない	0	いる	30	5
	平素の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られているか。	いない	11	いる	19	5
	自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など戸主以外の意見が反映できる仕組みになっているか。	いない	8	いる	22	5
	役員等の世代交代が進んでいるか。	いない	6	いる	25	4
	単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透しているか。	いない	7	いる	24	4
	他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができて	いない	12	いる	17	6